

こころを整える～文化^{ほっしん}発心
第26回国民文化祭・京都2011

実施計画大綱



第26回国民文化祭京都府実行委員会

目 次

■ 京都から「新しい国文祭」の提案

第26回国文化祭・京都2011「基本構想の理念」の事業化について……………1

※ 第26回国文化祭・京都2011 基本構想 I 基本的な考え方（理念）…7

■ 実施計画大綱

1	名称……………	9
2	テーマ……………	9
3	主催者……………	9
4	会期……………	9
5	シンボルマーク……………	10
6	マスコットキャラクター……………	10
7	愛称……………	10
8	記念歌……………	10
9	主催事業一覧……………	11
10	主催事業開催地等一覧	
	(1) 総合フェスティバル……………	13
	(2) シンポジウム……………	14
	(3) 全国から多彩な分野の参加者が集い、垣根を越えて発表・交流……………	15
	＜分野別フェスティバル＞	
	① 伝統文化のまちづくり・全国交流プロジェクト……………	15
	② 生活文化のまちづくり・全国交流プロジェクト……………	16
	③ 文芸のまちづくり・全国交流プロジェクト……………	17
	④ 音楽のまちづくり・全国交流プロジェクト……………	18
	⑤ 舞踊のまちづくり・全国交流プロジェクト……………	19
	⑥ 演劇のまちづくり・全国交流プロジェクト……………	19
	⑦ 美術のまちづくり・全国交流プロジェクト……………	19
	⑧ 誰もが主人公の「京都ならではの事業」……………	20
	(4) 府内各地域の個性あふれる文化の発見・創造……………	21
	＜分野別フェスティバル・一部再掲＞	
	① 丹後地域……………	23
	② 中丹地域……………	23
	③ 南丹地域……………	24
	④ 京都市地域……………	24
	⑤ 山城地域……………	26

京都から「新しい国文祭」の提案

— 第26回国民文化祭・京都2011の「基本構想の理念」の事業化について —

第26回国民文化祭・京都2011の「基本構想」は、「**ここを整える～文化の基本形を再発見 (Basics)**」、「**文化を駆動する力～進取の気風を世界へ (Creativity)**」、及び「**21世紀における京都の役割～人類社会の普遍的な価値を探る (Responsibility)**」の大きな「3つの理念」と、それらの理念を踏まえて示した「**京都開催への取り組み姿勢**」を基に策定されました。

私たちは、これらの「理念と取り組み姿勢」を基本として、新しい国文祭の在り方や事業等について提案いたします（7・8ページに「基本構想（理念）」を掲載）。

1 「ここを整える」リレーシンポジウム

（「基本構想理念」）

日本には、日々折り目正しくあろうとして育んできた大切な伝統があり、深い精神性が込められた文化があります。そのような日本人の「ここ」が隅々まで息づく京都で、「ここを整える」文化について考えるリレーシンポジウムを開催します。

※ 私たちは、開催までのプロセスも重視し、開催前年から京都府の内外にその精神を発信していきます。

《開催期間まで》

	シンポジウムのテーマ
セッション1	ここを整える～文化の基本形を再発見
セッション2	文化を駆動する力～進取の気風を世界へ
セッション3	21世紀における京都の役割～人類社会の普遍的な価値を探る
セッション4	国民文化祭京都開催への期待

（日程、会場は未定）

《開催期間》

ファイナルセッション	ここを整える（国民文化祭・京都2011から「世界へ提言」）
------------	-------------------------------

2 「大切にしたい『こころ』」のメッセージを発信（すべての参加者から）

（「基本構想理念」）

国民文化祭・京都2011では、出演者、出展者等のすべての参加者（団体）から事前に次のようなアンケートに回答（メッセージ）をいただきます。

- 1 あなたにとって、未来の日本や世界に伝えていきたい「大切な日本のこころ」とは何ですか？
- 2 それは、なぜですか？

- (1) このメッセージを、ステージでは演奏（演技等）前に、展示会場ではメッセージカードを掲示して発信していただきます。
- (2) このメッセージを、「こころを整える」リレーシンポジウムのファイナルセッションで、会場の意見と共に取り上げ、パネリストの討論内容を拡充します。
- (3) 閉会式において、これらのメッセージを集約し「京都からの提言」とします。

3 「大切にしたい『こころ』」のメッセージを発信（京都から）

（「基本構想理念」）

真に豊かな社会を築いていくために、人類はどのようにして多様な文化と向き合っていけばよいのか、物質的価値や経済効率性に代わるものとして、とりわけ「こころの豊かさ」をもたらすにはどうすればよいのか、など文化が果たしていくべき役割とその方策を、自然と共生しながら豊かな文化を育ててきた京都から、問い掛けていきます。（「主催事業の構成と特色」 4 文化が果たす役割の探求）

（各地域のサブテーマ）

地 域	「こころ」のサブテーマ	ゾーンテーマ
丹後地域	「紡ぎ合うこころ」文化発心	文芸絵巻丹後
中丹地域	「響き合うこころ」文化発心	流域絵巻中丹
南丹地域	「伝え合うこころ」文化発心	伝承絵巻南丹
京都市地域	「高め合うこころ」文化発心	千年絵巻京都
山城地域	「結び合うこころ」文化発心	街道絵巻山城

4 「京都ならではの事業」の展開

—— 自然と歴史が息づく京都ならではの国民文化祭・府民協働の開催プロセス

(「基本構想理念」)

衣食住の様式から社交の作法、自然環境と調和した暮らし方を編みだし、さらにそこから、^{すい}粋を極めたさまざまな技芸・学問を生みだしてきた「京都の文化力」を「国民文化祭・京都2011」に息づかせるため、「京都ならではの」公募事業により、多くの方々から御意見・アイデアを求め、国民文化祭の開催事業とのマッチングや独自事業へのブラッシュアップを行います。

開催までのプロセスにおいて、「京都ならではの」公募事業を通じ、企画段階から運営に至るまで、広範な住民との協働を積極的にすすめる機会と捉え、多くの府民が京都の文化を見つめ直す呼びかけを進めます。

平成20年度 公募期間：8月26日～10月14日

テーマ1：『事業アイデア』部門	106件
テーマ2：『企画事業』部門	60件

平成21年度においても実施予定

※本事業は、京都府事業として実施

5 「日本文化の再発見」事業の実施 —— 府内一円で大茶会、大華道展 など

(基本構想Ⅲ「事業構想」2主催事業の構成と特色)

「暮らしの文化を考える」「日本文化の粋に触れる」「府民一人ひとりが文化の主役」「京都の歴史舞台で感動を表現」などを中心に「日本文化の再発見」事業を展開します。

※ 事業の一部は「京都ならではの公募事業」で公募します。

- (1) 「京の暮らしの文化展」
- (2) 「明日の暮らしの文化展」
- (3) 「日本文化の粋に触れる」
- (4) 「『京の歴史舞台』を参加・体験」
- (5) 「府内一円で大茶会、大華道展」
- (6) 「食文化の祭典」
- (7) 「宇治茶の郷フェスティバル」

6 「文化が果たす役割の探求」 —— 「地球と人間」シンポジウムなど

(基本構想Ⅲ「事業構想」2主催事業の構成と特色)

「『手仕事・ものづくり』文化を考える」「次代を担う若者・子どもたちが主役」「人と自然、文化との調和」などを中心に「文化が果たす役割の探求」事業を展開します。

※ 事業の一部は「京都ならではの公募事業」で公募します。

- (1) 「ほんまもんに触れる」——「手仕事」参加体験
- (2) 「生の芸術文化に触れる」
- (3) 「水の文化」から自然を見つめる
- (4) 「地球と人間」シンポジウム

(「地球と人間」シンポジウムの開催)

テーマ	開催地	会場	開催日	内 容
健康長寿	京丹後市	京都府丹後文化会館	11月6日(日)	百歳以上の人口比率が高い「健康大長寿のまち」京丹後市において、健康長寿を地理的、気候的な面のみならず、歴史や民話なども視野に入れながら、広く「文化と環境」の側面から考えるシンポジウムとします。
里山	綾部市	京都府中丹文化会館	11月6日(日)	人と自然が混在する里山は、自然に手を加えながらも、他の生き物への配慮を忘れなかった日本の伝統文化が根付く場所です。そのような里山を見守る綾部市から、「里山」をテーマに、「地球と人間」を考えるシンポジウムとします。
地球と人間	けいはんな学研都市	京都府立けいはんなホール他	11月3日(木・祝)	文化、学術、研究、産業の拠点「けいはんな学研都市」において、「地球と人間」をテーマに、科学と人類の未来について考えるシンポジウムとします。

7 府民総参加による「京都文化年」で賑わう京都

(基本構想理念)

国文祭・京都が開催される平成23年を「京都文化年」とし、各種団体や企業による府内一円で開催される文化イベントをカレンダー化し、府民の文化創造への意欲を喚起するとともに、各イベントへの府民参画を促します。また、併せて、国文祭以降の文化創造基盤の強化を図ります。

- ① 府民、各種団体、民間企業、多様な主体が参加し、開催期間のみならず、京都各地域の折々の四季を感じながら主体の持ち味を存分に発揮して、府民総参加の下、年間を通じて「『地域ならではの』『ほんまもん』の文化」を体感できる「京都文化年」として開催する仕組みを作ります。
- ② 各種媒体を活用した「京都文化年イベントカレンダー」（仮称）の発信などを通じて、より多くの人々が文化に触れる機会をつくります。
- ③ 里山、海、歴史、文化などと地域全体をあるがままの博覧会会場に見立て、「地域密着型」「参加・体験型」など「京都文化年」ならではの新しい京都文化観光の企画実施を支援し、全国はもとより、世界から多くの人々が京都の各地域で滞在交流できるように取り組みます。
- ④ 「国民文化祭・京都2011開催記念——『京都文化年』協賛事業（仮称）」を創設し、期間外の府内の協賛事業から、当該年の府内の協賛事業まで、「京都文化年」を「オール京都」で盛り上げていきます。
- ⑤ すべての参加者が企画段階から大会運営、鑑賞、出演に平等に参加でき、誰にも開かれ、文化にふれ、交流ができる「ユニバーサル国文祭」の運営を目指します。

8 府民組織の「応援隊」で交流「都大路パレード」

（「基本構想理念」及び「京都総文の成果の継承」）

平成18年夏、京都府で開催された京都総文のパレード部門は、府内の高校生がそれぞれ「応援隊」を作って沿道を埋めつくし、パレードの参加者と沿道の応援隊が温かい交流を繰り広げました。

国民文化祭・京都2011では、保育・幼稚園児、小中高の児童・生徒、大学生から各団体によるボランティア組織にいたる大規模な「パレード応援隊（仮称）」によって、沿道からの府民との温かな交流にあふれた「都大路オープニングパレード」を実施します。

9 「京都から全国へ 創造性の発揮」

——「京都学生祭典」等、大学の街京都から、学生の自由な発想による文化祭典 など

（基本構想Ⅲ「事業構想」2主催事業の構成と特色）

「地域と芸術家との出会い・創造」「学生と地域連携創造モデルを提案」「京都から現代コンテンツの可能性を探る」「科学・技術の未来を読む」などを中心に「京都から全国へ 創造性の発揮」事業を展開します。

※ 事業の一部は「京都ならではの公募事業」で公募します。

- (1) 「『京都学生祭典』等、大学の街京都から、学生の自由な発想による文化祭典」
- (2) 「『京都総文』を継承し、若者が活躍できる場を積極的に採り入れる文化祭典」
- (3) 「留学生や海外の文化団体との国際交流を目的とした祭典」
- (4) 「映画・マンガ等の現代コンテンツを活用した文化創造」
- (5) 「京都版アーティスト・イン・レジデンス」
- (6) 「遊休施設アトスペース」
- (7) 「クールキョウト」

ここを整える

～文化の基本形を再発見 Basics

京都で開かれる国民文化祭。これを機に、わたしたちは一度立ちどまり、次のように問いかけてみたい。経済・社会の激しい変化と地球を覆うグローバル化の流れの中で、わたしたちは何かを忘れ、失ってきたのではないかと。そして、あまねく国民にとって文化とは何か、と。

家族で食事をするとき「いただきます」や「ごちそうさま」を言う人は6割あまりとの調査結果がある。また、レストランなどで食事をしたとき、「お金を払っているのになぜ『いただきます』と言わなければならないのか」という意見もある。「いただきます」や「ごちそうさま」ということばには、調達から調理、配膳にいたるまで食の用意にかかわったすべての人びとに感謝するとともに、食材そのものにも感謝するという、日本人の深い精神性が込められている。それは、わたしたちが日々折り目正しくあろうとして育ててきた大切な伝統であり、文化である。

こうした文化には、ある行為、ある段取りをきちんとするなかで「ここを整える」という知恵が込められている。急須でお茶を入れ、墨をすって手紙を書く。それは単に、のどを潤し、用件を伝えるということのみではなく、「お茶を入れる」「墨をする」という時間を持つこと自体に深い意味を見いだすものである。

京都は、衣食住の様式から社交の作法、自然環境と調和した暮らし方を編みだし、さらにそこから、粋を極めたさまざまな技芸・学問を生みだしてきた。日本という国が培ってきた文化・芸術の基本形が、ここには集積されている。国民文化祭の開催をきっかけとして、ここ京都から、ありふれた日々のいとなみのなかに文化の基本形を再発見し、日本の文化をふたたび創造性あふれる感受性豊かなものへと向かわせる潮流を生みだしたい。

文化を駆動する力

～進取の気風を世界へ Creativity

京都は古来、開かれた地である。北は丹後から南は山城まで、京とつながり、京を呼吸し、京とその外部をつないできた人びとによって、支えられてきた。また、たえず外の力、外の人々が流れ込み、その力が京をコアとしたこの地域の文化を駆動してきた。

たとえば、古より先進的な文化や技術をもった渡来人の定住が各所に見られ、「平安京」が定められて以降は、各地の職人・達者などが京に集い、そこに京都の伝統産業や技芸、文化の礎が築かれた。その後も、海外の文化を積極的に吸収し、技を磨き、極めるとともに、世界にも類まれな「和」の文化を育んだ。外なる世界に開かれ、また内には先取・革新の気風を宿すというダイナミズムを、京都はその活力の源としてきた。

ここに生まれた文化・芸術の基本形は、日本文化の原点というよりは、人類が培ってきた世界文化の基本形の一つである。その核にあるものをこの国民文化祭であらためて探りあてることによって、激動する世界のなかで今後、日本社会がどのような生き方、どのような生活の様式を、全国に、そして世界に提案をできるかを考えてみたい。世界から京都へやってきたものを、次は京都から世界へ返したい。

21世紀における京都の役割 ～人類社会の普遍的な価値を探る Responsibility

資源・地球環境の問題をはじめとして、高齢化社会、教育問題など、21世紀の日本はさまざまな困難な問題を抱え込んでいる。このような時代にあって、経済的な豊かさや効率性に代わる別の生き方、別の価値観、社会運営の新しい方式が求められている。

京都には、生活や行事・催事に四季のリズムがたくみに織り込まれ、歴史と芸術と宗教と自然とが日常の暮らしに浸透するなど、日本人のライフスタイルの原型が深く息づいている。これをもとに、来るべき時代を生き抜いていく知恵を見いだすとともに、地域の絆を再生し、新たなライフスタイルの提案を行うなど、21世紀の人類社会において京都が果たすべき役割を再認識するきっかけとなるような祭典を目指したい。

国民文化祭は、ともすれば県・府民のための文化祭となりがちである。京都で開催する国民文化祭では、以上述べたような視点から、21世紀における文化・芸術の基本形を目に見えるかたちで提示していきたい。「京都らしさ」にこだわることなく、人類社会の普遍的な価値を探り、そのために京都が果たすべき役割を明確に打ちだしていきたい。そのことが、これまででない、日本文化の粋が集積する「京都ならではの」国民文化祭の実現につながると信じている。

上記の理念を踏まえて ～京都開催への取り組み姿勢

京都には、各種芸道や舞台芸術、美術工芸など多くの文化関係者がいる。伝統技術を極めた職人たちがいる。大学で教える研究者・学生が数多く生活している。世界に向けてメッセージを発する宗教関係者が多数存在する。府民もさまざまな習い事に日々なじんでいる。他方、日本海に面した府北部から奈良県域につながる府南部まで、日本の原風景とでもいえる四季折々の自然や里山があり、それぞれの地域には、豊かな自然環境と厚い歴史に育まれた固有の生活文化が息づいている。

全国からの参加者や、次代を担う府内の子どもたちに、さらにはその親たちに、京都が誇るこれらの多彩な人材や生活環境にじかにふれる機会をさまざまなかたちで提供し、京都の生活文化、芸術文化、宗教文化をたっぷり体感できるチャンスとして、この国民文化祭を、時間をかけて作っていきたい。

文化にも幼児期から成長期、成熟期、そして爛熟期がある。精神や技法を極めたものから、戯れに愉しむものまである。それぞれが文化の、欠くことのできない位相である。国民文化祭（京都）では、地域・分野の別なく、プロとアマチュアの垣根を越えて、それぞれが刺激しあい、活性化しあうようないきいきとした交流を図りたい。

新しい文化の芽生えをこれまででない視点から創りあげ、発信していくために、文化創造のエネルギーの源であり、文化継承の将来の担い手でもある若者の力、さらには異なる文化のなかで育まれた外国人住民や留学生らの発想を積極的に採り入れ、かれらの斬新な発想や旺盛なチャレンジ精神を発揮するチャンスができるかぎり多く設けたい。

実施計画大綱

1 名 称

第26回国民文化祭・京都2011

2 テーマ

こころを整える～文化^{ほっしん}発心

日本には、日々折り目正しくあろうとして育ててきた大切な伝統があり、深い精神性が込められた文化があります。また、様々な交流の中で創造性あふれる豊かな文化を生み出してきた気概があります。

そのような日本人の「こころ」が、隅々まで息づくここ京都で、日本文化の良さを改めて見つめ直す中から、来るべき時代を生き抜いていく知恵と新たなライフスタイルを創造していこうとの気持ちを込め、「こころを整える～文化発心（ほっしん）」をテーマとしました。

3 主催者

文化庁、京都府、京都府教育委員会、開催市町村、開催市町（組合）教育委員会、第26回国民文化祭京都府実行委員会、第26回国民文化祭市町村実行委員会、全国及び府内の文化団体等

4 会 期

(1) 主催事業

平成23年10月29日（土） ～ 平成23年11月 6日（日）（9日間）

(2) 協賛事業

平成23年 4月 1日（金） ～ 平成23年11月30日（水）（8ヶ月間）

5 シンボルマーク

統一のシンボルマークとして、第1回（昭和61年、東京都開催）から次のデザインが採択されています。



文化は人間の知恵であり、秩序ある生活との結合であります。限りなく広がる文化へのあこがれを、歓喜の人形（かた）の構成でイメージしたデザインです。日本古来の古代紫を基調に、明るさを加えて、新しい日本の未来色のイメージにした色彩計画です。

福田繁雄（グラフィック・デザイナー）

6 マスコットキャラクター

国民文化祭への府民の参加意識を高めるため、「マスコットキャラクター」を公募しました。
公募期間：平成21年3月16日（月）～5月22日（金）

7 愛称

今後、国民文化祭への府民の参加意識を高めるため、「愛称」を公募します。

8 記念歌

国民文化祭への府民の参加意識を高め、音楽による気運醸成を図るとともに、本府開催の記念として永く演奏し続ける「記念歌」を制作し、各種イベントやキャンペーンなどはもとより、大会期間中、総合フェスティバルや分野別フェスティバル等で活用します。

9 主催事業一覧

(1) 総合フェスティバル (2事業)

- ・開会式・オープニングフェスティバル (オープニングパレードを含む)
- ・閉会式・グランドフィナーレ

(2) シンポジウム (4事業)

- 【メインテーマ】 ・「こころを整える」リレーシンポジウム
【地球と人間】 ・シンポジウム「健康長寿」
・シンポジウム「里山」
・シンポジウム「地球と人間」

(3) 分野別フェスティバル (60事業)

① 《 伝統文化のまちづくり・全国交流プロジェクト 》 (13)

- ・全国吟詠剣詩舞道祭
- ・亀岡祭
- ・民俗芸能の祭典
- ・人形浄瑠璃の祭典
- ・和太鼓フェスティバル
- ・民謡・民舞の祭典
- ・盆踊りフェスティバル
- ・日本「鬼」文化祭典
- ・全国田楽祭
- ・日本舞踊の祭典
- ・邦楽の祭典
- ・能楽の祭典
- ・松花堂昭乗展

② 《 生活文化のまちづくり・全国交流プロジェクト 》 (14)

- ・赤れんがアートフェスティバル
- ・工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」
- ・京の暮らしの文化展
- ・明日の暮らしの文化展
- ・競技文化フェスティバル (小倉百人一首かるた大会・囲碁大会・将棋大会・ゲーム文化)
- ・シルクファッションフェスティバル
- ・食文化の祭典「海の恵み」
- ・食文化の祭典「里の恵み」
- ・食文化の祭典「京の料理」
- ・食文化の祭典「野の恵み」
- ・食文化の祭典「山の恵み『全国ご当地鍋サミット』」
- ・茶の世界展
- ・いけばなの世界展
- ・木津川物語2011

③ 《 文芸のまちづくり・全国交流プロジェクト 》 (9)

- ・小町ろまん「短歌大会」
- ・与謝蕪村顕彰「俳句大会」
- ・川柳の祭典
- ・連歌の祭典
- ・連句の祭典
- ・現代詩フェスティバル
- ・民話の祭典
- ・永谷宗圓「茶」俳句賞
- ・一休とんち大賞

④ 《 音楽のまちづくり・全国交流プロジェクト 》 (11)

- ・合唱の祭典
- ・里山合唱フェスティバル
- ・少年少女合唱フェスティバル
- ・吹奏楽の祭典
- ・吹奏楽ポップスとジャズの祭典
- ・マーチングフェスティバル
- ・オーケストラの祭典
- ・ジュニアオーケストラフェスティバル
- ・室内楽フェスティバル
- ・大正琴の祭典
- ・おやじたちのコンサート

⑤ 《 舞踊のまちづくり・全国交流プロジェクト 》 (2)

- ・洋舞フェスティバル・クラシックバレエ
- ・洋舞フェスティバル・モダンダンス

⑥ 《 演劇のまちづくり・全国交流プロジェクト 》 (2)

- ・現代劇の祭典
- ・人形劇の祭典

⑦ 《 美術のまちづくり・全国交流プロジェクト 》 (4)

- ・美術展（日本画・洋画・書・彫刻）
- ・工芸の祭典
- ・「お茶のある風景」フォトコンテスト
- ・切り絵の世界「剪画展」

⑧ 《 誰もが主人公の「京都ならではの事業」 》 (5)

- ・宇治茶の郷フェスティバル
- ・大茶会
- ・大華道展
- ・マンガアートフェスティバル
- ・京都ならではの公募事業

10 主催事業開催地等一覧

(1) 総合フェスティバル（2事業）

事業名	開催地	会場	開催日	内 容
開会式・ オープニング フェスティバル (オープニングパレードを含む)	京都市	国立京都国際会館	10月29日(土)	<p>第26回国民文化祭の開会を高らかに全国にアピールし、四季折々、美しい表情を見せる京都を舞台に、総合フェスティバルにおいて、「音」「香」「味」「光」「触」「映像」等を駆使して日本文化の粋を体現するとともに、その歴史をひもとく壮大な「日本文化絵巻」を展開し、国内最大の文化の祭典にふさわしいオープニングステージを演出します。</p> <p>また、「パレード応援隊(仮称)」による沿道の府民との温かな交流にあふれた「都大路オープニングパレード」を総合的に演出します。</p>
閉会式・ グランドフィナーレ	京都市	京都会館	11月 6日(日)	<p>最後を飾るフィナーレにおいて、国民文化祭での交流を通じて育まれた相互の絆と、京都開催で生み出された新文化創造の気運を次代に引き継ぐため、「未来・創造～子どもたちへ(仮題)」をテーマに、若者などの自主企画によるステージパフォーマンスを展開し、次回開催県に大会旗を引き継ぎます。</p>

(2) シンポジウム (4事業)

①「こころを整える」 リレーシンポジウムとファイナルセッション

	テーマ			内 容
セッション1	こころを整える ～文化の基本形を再発見			国民文化祭開催までに実施 日程・会場等未定
セッション2	文化を駆動する力 ～進取の気風を世界へ			
セッション3	21世紀における京都の役割 ～人類社会の普遍的な価値を探る			
セッション4	国民文化祭京都開催への期待			
ファイナルセッション	開催地	会 場	開催日	内 容
	京都市	京都会館	11月6日(日)	日本には、日々折り目正しくあろうとして育んできた大切な伝統があり、深い精神性が込められた文化があります。そのような日本人の「こころ」が隅々まで息づく京都で、「こころを整える」文化について考えるシンポジウム。 リレーシンポジウムの最終回として国文祭・京都から提言を行います。

②シンポジウム「地球と人間」

テーマ	開催地	会 場	開催日	内 容
健康長寿	京丹後市	京都府丹後文化会館	11月6日(日)	百歳以上の人口比率が高い「健康長寿のまち」京丹後市において、健康長寿を地理的、気候的な面のみならず、歴史や民話なども視野に入れながら、広く「文化と環境」の側面から考えるシンポジウムとします。
里山	綾部市	京都府中丹文化会館	11月6日(日)	人と自然が混在する里山は、自然に手を加えながらも、他の生き物への配慮を忘れなかった日本の伝統文化が根付く場所です。そのような里山を見守る綾部市から、「里山」をテーマに、「地球と人間」を考えるシンポジウムとします。
地球と人間	けいはんな学研都市	京都府立けいはんなホール他	11月3日(木・祝)	文化、学術、研究、産業の拠点「けいはんな学研都市」において、「地球と人間」をテーマに、科学と人類の未来について考えるシンポジウムとします。

(3) 全国から多彩な分野の参加者が集い、垣根を越えて発表・交流（分野別フェスティバル）

① 伝統文化のまちづくり・全国交流プロジェクト

事業名	開催地	会場	開催日	内容
全国吟詠剣詩舞道祭	京都市	京都会館	10月30日(日)	全国の愛好者が集い、吟詠と剣詩舞の競演を行い、新たな出会いと交流の場とします。
亀岡祭	亀岡市	旧亀山城下	10月29日(土)	約300年の伝統を持つ府登録無形民俗文化財、壮麗な懸装品に飾られた「亀岡祭山鉾行事」を再現し、受け継がれる伝統文化の魅力を味わいます。
民俗芸能の祭典	亀岡市	ガレリアかめおか	10月30日(日)	全国各地から地域の人々に親しまれ引き継がれてきた祭などの民俗芸能が競演し、新たな出会いと交流の場とします。
人形浄瑠璃の祭典	京丹波町	わちふれあいセンター	11月5日(土)	人形浄瑠璃のまち京丹波町において、地域の人々に親しまれ引き継がれてきた内外の人形浄瑠璃の競演を通して、新たな出会いと交流の場とします。
和太鼓フェスティバル	城陽市	文化パルク城陽	11月5日(土)	全国の創作和太鼓の団体が集い勇壮な和太鼓の競演やワークショップにより、新たな出会いと交流の場とします。
民謡・民舞の祭典	宮津市	宮津市民体育館	11月5日(土) 11月6日(日)	宮津おどりで有名な宮津市に、全国の民謡・民舞の愛好者が集い、全国各地で歌い踊り継がれてきた歌や踊りを披露し、出会いと交流の場とします。
盆踊りフェスティバル	福知山市	三段池公園総合体育館 広小路通り他	11月5日(土) 11月6日(日)	福知山踊りで有名な福知山市に全国各地の盆踊り連が集まり、音頭・お囃子の披露を通して、新たな出会いと交流の場とします。
日本「鬼」文化祭典	福知山市	大江地域公民館 日本の鬼交流博物館	10月29日(土) 11月6日(日)	大江山や全国の鬼伝説にまつわる資料等の展示や「世界鬼学会」のシンポジウム、民俗芸能等を紹介する祭典を通して新たな出会いと交流を創ります。
全国田楽祭	宇治市	宇治市文化センター	11月3日(木・祝)	宇治田楽の地に全国各地に継承保存されている田楽が集い、日本の伝統芸能を通して新たな出会いと交流の場とします。
日本舞踊の祭典	京都市	(調整中)	10月29日(土)	全国の日本舞踊の愛好者が流派を超えて集い、華麗な舞踊を披露し、新たな出会いと交流の場を創ります。
邦楽の祭典	京都市	(調整中)	(調整中)	全国の邦楽の愛好者が流派を超えて集い、伝統音楽を披露し、新たな出会いと交流の場を創ります。
能楽の祭典	京都市	(調整中)	(調整中)	全国の能楽愛好者が流派を超えて集い、新たな出会いと交流の場を創ります。

松花堂昭乗展	八幡市	松花堂美術館他	10月29日(土) ? 11月6日(日)	八幡市ゆかりの寛永の文人、松花堂昭乗をめぐる書道展や茶会等をゆかりの場所等で開催し、地域に根付く文化を伝えます。
--------	-----	---------	----------------------------	--

② 生活文化のまちづくり・全国交流プロジェクト

事業名	開催地	会場	開催日	内容
赤れんがアートフェスティバル	舞鶴市	赤れんが倉庫群	10月29日(土) 10月30日(日)	赤れんが倉庫群などの近代化遺産を舞台に、アートフェスタ、食の祭典、ジャズライブなど多彩な催しを展開します。
工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」	南丹市	市及び隣接市町、アトリエ、自然景勝地他	10月29日(土) ? 11月6日(日)	南丹市を中心に点在する工芸の工房や自然豊かな南丹地域の里の秋を巡り、伝統工芸の息吹と里の自然にふれるツアーを実施
京の暮らしの文化展	京都市	京都市内各所	10月29日(土) ? 11月6日(日)	京都の先人たちによって暮らしの中から生み出され、受け継がれてきた文化に触れる場とします。京町家等京都市内の各所から様々な生活文化を発信します。
明日の暮らしの文化展	けいはんな学研都市	けいはんなゾーン学研都市研究施設他	10月29日(土) ? 11月6日(日)	衣食住を中心とした生活の未来像を科学的に提案する展示や体験を通して、生活文化を総合的に考える場とします。
競技文化フェスティバル	京都市	パルスプラザ	10月29日(土) ? 11月6日(日)	
「小倉百人一首かるた大会」				小倉百人一首かるた大会を開催し、入賞者を表彰するとともに、講評等を行い、新たな出会いと交流の場とします。
「囲碁大会」				囲碁大会を開催し、入賞者を表彰するとともに、プロによる講評等を行い、新たな出会いと交流の場とします。
「将棋大会」				将棋大会を開催し、入賞者を表彰するとともに、プロによる講評等を行い、新たな出会いと交流の場とします。
「ゲーム文化」				トランプやゲームの体験空間を作り、ゲームを介した交流を通して、これからのゲーム文化を考える場とします。
シルクファッションフェスティバル	京丹後市	京都府丹後文化会館	11月3日(木・祝)	丹後ちりめんを中心としたシルクの着物や産官学協働の現代的な絹織物によるファッションのショーを通じ、着物文化やシルク文化を考える場とします。
食文化の祭典「海の恵み」	(調整中)	(調整中)	(調整中)	「海の恵み」による食の祭典を通して、豊かな食文化を考える場とします。
食文化の祭典「里の恵み」	(調整中)	(調整中)	(調整中)	府中部の丹波高原の豊かな自然からの「里の恵み」による食の祭典を通して、豊かな食文化を考える場とします。

食文化の祭典「京の料理」	(調整中)	(調整中)	(調整中)	1000年の人と物の交流と文化により大成された京料理。おばんざいも含めた京の料理を通じた食の文化を考えます。
食文化の祭典「野の恵み」	久御山町	久御山中央公民館	11月5日(土) 11月6日(日)	巨椋池干拓地跡の豊穡で栽培される野菜等「野の恵み」による食文化を考える場とします。合わせて、町の伝統芸能安養寺鉦講を披露します。
食文化の祭典「山の恵み『全国ご当地鍋サミット』」	笠置町	わかさぎ温泉笠置いこいの館他	11月6日(日)	きじ鍋の町笠置町に全国からご当地鍋を集め、鍋を通じた全国の豊かな食文化の出会いと交流の場を創ります。
茶の世界展	京都市	京都市内各所	10月29日(土) 11月6日(日)	京都ならではの会場と設えを用意し、茶の湯の美学とところを紹介し、伝統文化の真髄に触れる場とします。
いけばなの世界展	京都市	京都市内各所	10月29日(土) 11月6日(日)	京都ならではの会場と設えを用意し、いけばなの美学とところを紹介し、伝統文化の真髄に触れる場とします。
木津川物語2011	木津川市	木津川市内各所	10月29日(土) 11月6日(日)	恭仁京のまち木津川市において、恭仁京、学研サイエンスフェスティバルなど歴史と伝統文化から科学志向の催しまでを伝えます。

③ 文芸のまちづくり・全国交流プロジェクト

事業名	開催地	会場	開催日	内容
小町ろまん「短歌大会」	京丹後市	京都府丹後文化会館	10月29日(土) 10月30日(日)	京丹後市ゆかりの小野小町にちなんだテーマの短歌を全国から募集し、優秀作品を表彰するとともに、吟行等を通じ、新たな出会いと交流の場を創ります。
与謝蕪村顕彰「俳句大会」	与謝野町	野田川わーくぱる	10月29日(土) 10月30日(日)	与謝野町ゆかりの蕪村を顕彰し、全国から俳句を募集し、優秀作品を表彰します。また、吟行等を開催し、新たな出会いと交流の場を創ります。
川柳の祭典	井手町	京都府山城勤労者福祉会館	11月5日(土) 11月6日(日)	緑豊かな井手町を舞台に、全国から川柳を募集し、優秀作品を表彰します。講評会等を通じて新たな出会いと交流の場を創ります。
連歌の祭典	京都市	(調整中)	11月5日(土)	全国から連歌を募集し、優秀作品を表彰します。また、吟行会等を開催し、新たな出会いと交流の場を創ります。
連句の祭典	京都市	(調整中)	10月30日(日)	全国の連句愛好者が集い、吟行会や実作会等を開催し、新たな出会いと交流の場を創ります。
現代詩フェスティバル	京都市	(調整中)	(調整中)	全国の現代詩愛好者が集い、詩作や朗読等により、新たな出会いと交流の場を創ります。

民話の祭典	伊根町	伊根町コミュニティセンターほっと館	11月5日(土)	民話のまち伊根町に全国から様々な民話が集い、朗読により発表します。また、講評会等を通じ新たな出会いと交流の場を創ります。
永谷宗圓「茶」俳句賞	宇治田原町	宇治田原総合文化センター	10月30日(日)	日本緑茶発祥の地、宇治田原町において全国から「茶」にまつわる俳句を募集し、優秀作品の表彰や講評会により、新たな出会いと交流の場を創ります。
一休とんち大賞	京田辺市	京田辺市立中央公民館	11月3日(木・祝)	京田辺市ゆかりの一休さんにちなみ「一休とんち大賞」を開催し、優秀作品を表彰します。また、講評会等によって新たな出会いと交流の場を創ります。

④ 音楽のまちづくり・全国交流プロジェクト

事業名	開催地	会場	開催日	内容
合唱の祭典	京都市	京都コンサートホール	10月30日(日)	全国の合唱団が集い、コーラスの競演を行い、新たな出会いと交流の場を創ります。
里山合唱フェスティバル	綾部市	京都府中丹文化会館	11月3日(木・祝)	豊かな里山が広がる綾部市を舞台に「里山」をテーマにした合唱曲の競演を通じて、里山を見つめる新たな出会いと交流の場とします。
少年少女合唱フェスティバル	精華町	京都府立いはんなホール	11月5日(土) 11月6日(日)	全国の少年少女合唱団が関西文化学術研究都市の精華町を舞台に、澄んだ歌声を披露し、新たな出会いと交流の場を創ります。
吹奏楽の祭典	京都市	京都會館	11月3日(木・祝)	全国の吹奏楽の団体が集い、多彩な演奏を行い、新たな出会いと交流の場を創ります。
吹奏楽ポップスとジャズの祭典	舞鶴市	舞鶴市総合文化会館 赤れんが倉庫群	10月29日(土)	吹奏楽のまち舞鶴市において、全国からポップス演奏の吹奏楽とジャズバンドが集い、ポピュラー音楽愛好者の新たな出会いと交流の場とします。
マーチングフェスティバル	宇治市	京都府立山城総合運動公園体育館	10月30日(日)	全国のマーチングとパトンの団体が集い、多彩な演奏演技を行い、新たな出会いと交流の場とします。
オーケストラの祭典	長岡京市	京都府長岡京記念文化会館	10月30日(日)	音楽のまち、長岡京市を舞台に、全国のアマチュアオーケストラが集い、合同演奏などを通じ新たな出会いと交流の場とします。
ジュニアオーケストラフェスティバル	京都市	京都コンサートホール	11月6日(日)	ジュニアオーケストラの競演を通して、クラシック音楽の若い芽を育てるとともに新たな出会いと交流の場とします。
室内楽フェスティバル	宇治田原町	宇治田原町総合文化センター	10月30日(日)	お茶のふるさと宇治田原町にハーブを中心とした室内楽愛好者が集い、温かい演奏を通して新しい出会いと交流の場とします。

大正琴の祭典	城陽市	文化パルク城陽	10月29日(土) 10月30日(日)	全国の大正琴の団体が集い、流派を超えて競演し、新たな出会いと交流の場とします。
おやじたちのコンサート	八幡市	(調整中)	11月6日(日)	団塊の世代を中心としてフォークソング愛好者が発祥の地と言われる京都に集い、新たな出会いと交流の場を創ります。

⑤ 舞踊のまちづくり・全国交流プロジェクト

事業名	開催地	会場	開催日	内容
洋舞フェスティバル・クラシックバレエ	長岡京市	京都府長岡京記念文化会館	11月5日(土)	全国のクラシックバレエ愛好者が集い、華麗なバレエの競演を行い、新たな出会いと交流の場を創ります。
洋舞フェスティバル・モダンダンス	京都市	京都府立京都府民ホールアルティ	10月30日(日)	全国のダンス愛好者が集い、モダン、ジャズ、コンテンポラリー等のダンスの競演を行い、新たな出会いと交流の場を創ります。

⑥ 演劇のまちづくり・全国交流プロジェクト

事業名	開催地	会場	開催日	内容
現代劇の祭典	京都市	(調整中)	11月3日(木・祝)	全国のアマチュアの演劇団体が集い、演劇の競演を行い、新たな出会いと交流の場とします。
人形劇の祭典	京田辺市	京田辺市立中央公民館他	11月5日(土) 11月6日(日)	一休さんゆかりの京田辺市において、全国のアマチュア人形劇団が集い、日頃の成果の披露を通して、新たな出会いと交流の場とします。

⑦ 美術のまちづくり・全国交流プロジェクト

事業名	開催地	会場	開催日	内容
美術展	京都市	京都市美術館他	10月29日(土) ? 11月6日(日)	全国から日本画、洋画、書、彫刻の作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、子どもも参加できるワークショップを実施します。
日本画展				
洋画展				
書展				

彫刻展				
工芸の祭典	南丹市	南丹市国際交流会館 南丹市立文化博物館 京都伝統工芸大学校他	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	伝統工芸のまち南丹市において、全国から工芸の作品を募集し、優秀作品を表彰します。また、講評会等によって新たな出会いと交流の場を創ります。
「お茶のある風景」フォトコンテスト	和束町	グリーンティ和束、和束B&G海洋センター	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	京都府景観資産第1号に登録された和束町の「茶畑と自然景観」を題材としたフォトコンテストを開催し、新たな出会いと交流の場を創ります。
切り絵の世界「剪画展」	向日市	向日市民会館	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	全国から剪画の作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、講評会等によって新たな出会いと交流の場を創ります。

⑧ 誰もが主人公の「京都ならではの事業」

事業名	開催地	会場	開催日	内容
宇治茶の郷フェスティバル	山城地域 各市町村	山城地域各市町村	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	宇治茶を育ててきた山城地域は、お茶に関わる史跡や行事、習慣が伝えられる山城地域において、煎茶道も含めた宇治茶の郷文化を伝えます。
	大山崎町	大山崎町内各所	(調整中)	町内の観光・歴史スポットを会場に流儀・流派にとらわれない茶会を開催するとともに、灯りのフェスティバルを開催。
	南山城村	南山城村文化会館等	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	主要な宇治茶の産地、府内唯一の「村」南山城村では、茶香服[ちかふき]大会等で宇治茶の郷を発信します。
大茶会	府内広域	府内各所	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	茶会マップにより京都府内全域の「茶会めぐりと文化探訪」のラリーによって、発祥地ならではの流派を超えた茶の湯文化を伝えます。
大華道展	府内広域	府内各所	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	京都府内の歴史的建造物で、流派を超えた華道展を開催し、新たな出会いと交流の場とします。
マンガアートフェスティバル	京都市	京都国際マンガミュージアム他	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	世界から注目されているマンガやアニメなどの新しい文化と、その大きな可能性を紹介する場とします。
京都ならではの公募事業	府内広域	府内各所	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	「京都ならではの」アイデア提案事業を、広域化や焦点化させ、新しい文化の渦を繰り広げます。

※ 主催事業の事業名、会場、開催日等については、今後検討を進める中で変更する可能性があります。

(4) 府内各地域の個性あふれる文化の発見・創造（分野別フェスティバル・一部再掲）

① メインテーマ 「こころを整える～文化発心」

日本には、日々折り目正しくあろうとして育んできた大切な伝統があり、深い精神性が込められた文化があります。また、様々な交流の中で創造性にあふれる豊かな文化を生みだしてきた気概があります。

そのような日本人の「こころ」が、隅々まで息づくここの京都で、日本文化の良さを改めて見つめ直す中から、来るべき時代を生き抜いていく知恵と新たなライフスタイルを創造していこうとの気持ちを込め、「こころを整える～文化発心（ほっしん）」をテーマとしました。

② 各地域のサブテーマ

丹後地域	「紡ぎ合うこころ」文化発心	文芸絵巻丹後
------	---------------	--------

物語や文学を愛するこの地域には、日々の生活の中から言葉によって「紡ぎ出すこと」を大切にしている気風があります。今、「糸を紡ぐ」原点を見つめ直し、「紡ぎ合うこころ」にあふれた文化を丹後半島から「発心」します。

★Folklore Line ■ 民間伝承路線 ■

福知山 ◇◇◇ 大江 ◇◇◇ 宮津 (◇◇◇) 伊根

《 KTR 》 (盆踊りフェス) (鬼フェス) (民謡・民舞) (民話朗読)

中丹地域	「響き合うこころ」文化発心	流域絵巻中丹
------	---------------	--------

音楽や踊りの喜びは、こころとこころが「響き合う」ことにあります。それは、人と人が共に生きる喜びの原点でもあります。音楽や舞踊を通して、今、「響き合うこころ」にあふれた文化を由良川流域から「発心」します。

南丹地域	「伝え合うこころ」文化発心	伝承絵巻南丹
------	---------------	--------

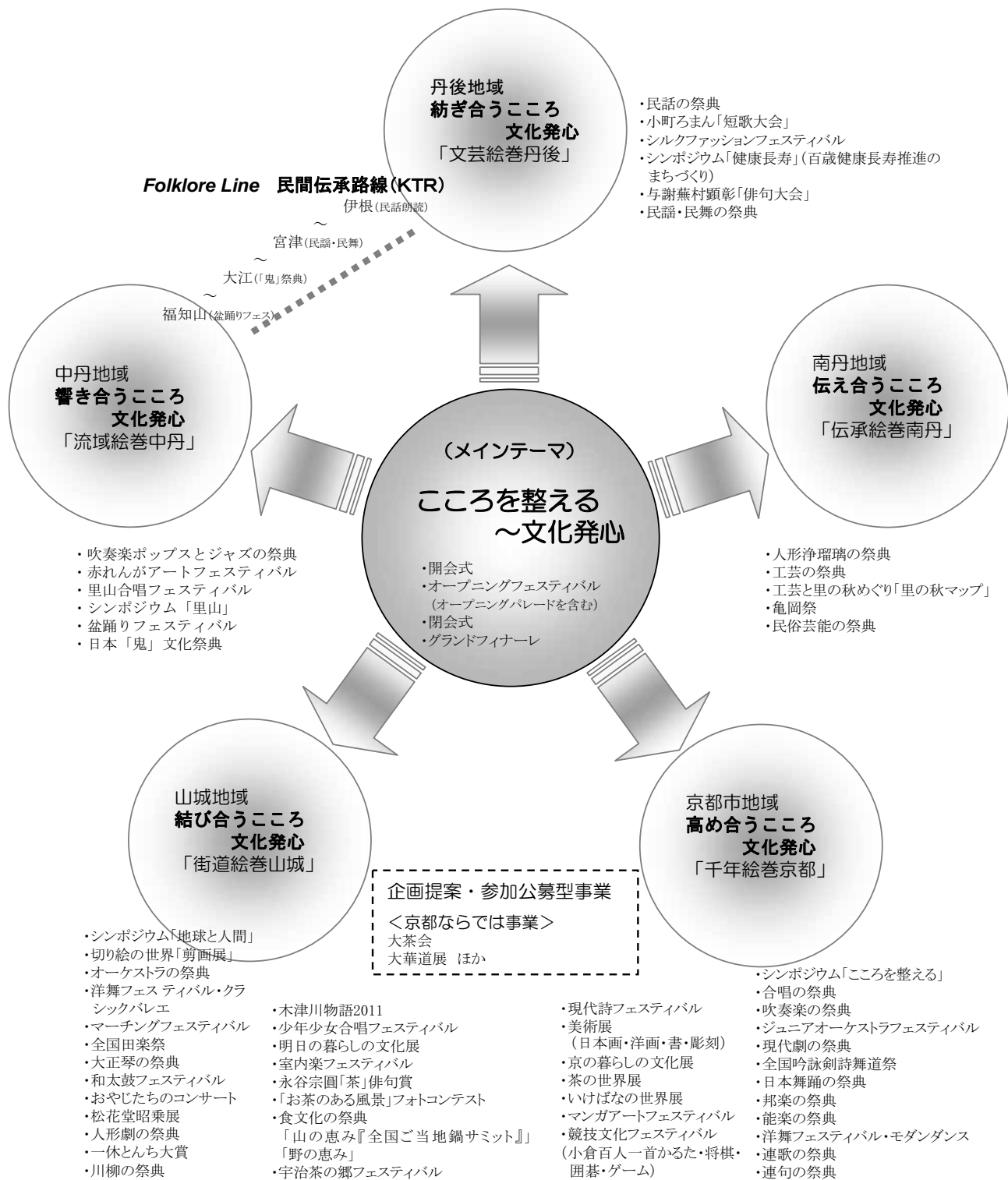
人に伝えること、人から伝わることを重んじる「伝え合うこころ」は、共に生きる営みの原点です。先人の大切なメッセージを受け止め、次の世代に伝える「伝え合うこころ」を尊重する文化を、今、丹波路から「発心」します。

京都市地域	「高め合うこころ」文化発心	千年絵巻京都
-------	---------------	--------

「高まろうとするこころ」が、もう一つの「高まろうとするこころ」に出会う時、人は生きることの喜びをかみしめます。「高め合うこころ」によって錬磨された雅（みやび）の文化を千年の都から「発心」します。

山城地域	「結び合うこころ」文化発心	街道絵巻山城
------	---------------	--------

「結び合うこと」は、人として生きる喜びの原点に違いありません。結び合おうとするこころが、文化の広がりや深まりを育んできました。未来に運ぶ「結び合うこころ」の文化を今、街道往来の山城から「発心」します。



① 丹後地域

「紡ぎ合うところ」文化発心 ―― 文芸絵巻丹後

事業名	開催地	会場	開催日	内容
【文芸】 小町ろまん「短歌大会」	京丹後市	京都府丹後文化会館	10月29日(土) 10月30日(日)	京丹後市ゆかりの小野小町にちなんだテーマの短歌を全国から募集し、優秀作品を表彰するとともに、吟行等を通じ、新たな出会いと交流の場を創ります。
【生活文化】 シルクファッションフェスティバル	京丹後市	京都府丹後文化会館	11月3日(木・祝)	丹後ちりめんを中心としたシルクの着物や産官学協働の現代的な絹織物によるファッションのショーを通じ、着物文化やシルク文化を考える場とします。
【シンポジウム】 シンポジウム「健康長寿」(百歳健康長寿推進のまちづくり)	京丹後市	京都府丹後文化会館	11月6日(日)	百歳長寿が多いまち京丹後市において、「文化と環境」を中心に、「百歳健康長寿」を様々な側面から考えるシンポジウムとします。
【文芸】 民話の祭典	伊根町	伊根町コミュニティセンターほっと館	11月5日(土)	民話のまち伊根町に全国から様々な民話が集い、朗読により発表します。また、講習会等を通じ新たな出会いと交流の場を創ります。
【伝統文化】 民謡・民舞の祭典	宮津市	宮津市民体育館	11月5日(土) 11月6日(日)	宮津おどりで有名な宮津市に、全国の民謡・民舞の愛好者が集い、全国各地で歌い踊り継がれてきた歌や踊りを披露し、出会いと交流の場とします。
【文芸】 与謝蕪村顕彰「俳句大会」	与謝野町	野田川わくーぼる	10月29日(土) 10月30日(日)	与謝野町ゆかりの蕪村を顕彰し、全国から俳句を募集し、優秀作品を表彰します。また、吟行等を開催し、新たな出会いと交流の場を創ります。

※ Folklore Line 民間伝承路線 (KTR)

福知山(盆踊りフェス) ~ 大江(鬼フェス) ~ 宮津(民謡・民舞) ~ 伊根(民話朗読)

② 中丹地域

「響き合うところ」文化発心 ―― 流域絵巻中丹

事業名	開催地	会場	開催日	内容
【音楽】 吹奏楽ポップスとジャズの祭典	舞鶴市	舞鶴市総合文化会館 赤れんが倉庫群	10月29日(土)	吹奏楽のまち舞鶴市において、全国からポップス演奏の吹奏楽とジャズバンドが集い、ポピュラー音楽愛好者の新たな出会いと交流の場とします。
【生活文化】 赤れんがアートフェスティバル	舞鶴市	赤れんが倉庫群	10月29日(土) 10月30日(日)	赤れんが倉庫群などの近代化遺産を舞台に、アートフェスタ、食の祭典、ジャズライブなど多彩な催しを展開します。
【伝統文化】 盆踊りフェスティバル	福知山市	三段池公園総合体育館 広小路通り他	11月5日(土) 11月6日(日)	福知山踊りで有名な福知山市に全国各地の盆踊り連が集まり、音頭・お囃子の披露を通して、新たな出会いと交流の場とします。

【伝統文化】 日本「鬼」文化祭典	福知山市	大江地域公民館 日本の鬼交流博物館	10月29日(土) ? 11月6日(日)	大江山や全国の鬼伝説にまつわる資料等の展示や「世界鬼学会」のシンポジウム、民俗芸能を紹介する祭典を通して新たな出会いと交流を創ります。
【音楽】 里山合唱フェスティバル	綾部市	京都府中丹文化会館	11月3日(木・祝)	豊かな里山が広がる綾部市を舞台に「里山」をテーマにした合唱曲の競演を通じて、里山を見つめる新たな出会いと交流の場とします。
【シンポジウム】 シンポジウム「里山」	綾部市	京都府中丹文化会館	11月 6日(日)	人と自然が混在する里山は、日本の伝統文化が根付く場所です。「里山」をテーマに、「地球と人間」を考えるシンポジウムとします。

③ 南丹地域 「伝え合うところ」文化発心 —— 伝承絵巻南丹

事業名	開催地	会場	開催日	内容
【伝統文化】 人形浄瑠璃の祭典	京丹波町	わちふれあいセンター	11月5日(土)	人形浄瑠璃のまち京丹波町において、地域の人々に親しまれ引き継がれてきた内外の人形浄瑠璃の競演を通して、新たな出会いと交流の場とします。
【美術】 工芸の祭典	南丹市	南丹市国際交流会館 南丹市立文化博物館 京都伝統工芸大学校他	10月29日(土) ? 11月6日(日)	全国から募集した工芸の作品を伝統工芸のまち南丹市において展示し、優秀作品を表彰します。講習会等によって新たな出会いと交流の場を創ります。
【生活文化】 工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」	南丹市	市及び隣接市町、アトリエ、自然景勝地他	10月29日(土) ? 11月6日(日)	南丹市を中心に点在する工芸の工房や自然豊かな南丹地域の里の秋を巡り、伝統工芸の息吹と里の自然にふれるツアーを実施
【伝統文化】 亀岡祭	亀岡市	旧亀山城下	10月29日(土)	約300年の伝統を持つ府登録無形民俗文化財、壮麗な懸装品に飾られた「亀岡祭山鉾行事」を再現し、受け継がれる伝統文化の魅力を味わいます。
【伝統文化】 民俗芸能の祭典	亀岡市	ガレリアかめおか	10月30日(日)	全国各地から地域の人々に親しまれ引き継がれてきた祭などの民俗芸能が競演し、新たな出会いと交流の場とします。

④ 京都市地域 「高め合うところ」文化発心 —— 千年絵巻京都

事業名	開催地	会場	開催日	内容
【シンポジウム】 メインテーマ ところを整える (リレーシンポジウム ファイナルセッション)	京都市	京都会館	11月6日(日)	日本人の「ところ」が隅々まで息づく京都で、「ところを整える」文化について考えます。 「ところを整える」リレーシンポジウムを締めくくり、国文祭・京都から新たな提言を行います。
【伝統文化】 全国吟詠剣詩舞道祭	京都市	京都会館	10月30日(日)	全国の愛好者が集い、吟詠と剣詩舞の競演を行い、新たな出会いと交流の場とします。

【伝統文化】 日本舞踊の祭典	京都市	(調整中)	10月29日(土)	全国の日本舞踊の愛好者が流派を超えて集い、華麗な舞踊を披露し、新たな出会いと交流の場を創ります。
【伝統文化】 邦楽の祭典	京都市	(調整中)	(調整中)	全国の邦楽の愛好者が流派を超えて集い、伝統音楽を披露し、新たな出会いと交流の場を創ります。
【伝統文化】 能楽の祭典	京都市	(調整中)	(調整中)	全国の能楽愛好者が流派を超えて集い、新たな出会いと交流の場を創ります。
【生活文化】 京の暮らしの文化展	京都市	京都市内各所	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	京都の先人たちによって暮らしの中から生み出され、受け継がれてきた文化に触れる場とします。京町家等京都市内の各所から様々な生活文化を発信します。
【生活文化】 競技文化フェスティバル	京都市	パルスプラザ	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	
「小倉百人一首かるた大会」				小倉百人一首かるた大会を開催し、入賞者を表彰するとともに、講評等を行い、新たな出会いと交流の場とします。
「囲碁大会」				囲碁大会を開催し、入賞者を表彰するとともに、プロによる講評等を行い、新たな出会いと交流の場とします。
「将棋大会」				将棋大会を開催し、入賞者を表彰するとともに、プロによる講評等を行い、新たな出会いと交流の場とします。
「ゲーム文化」		トランプやゲームの体験空間を作り、ゲームを介した交流を通して、これからのゲーム文化を考える場とします。		
【生活文化】 茶の世界展	京都市	京都市内各所	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	京都ならではの会場と設えを用意し、茶の湯の美学とところを紹介し、伝統文化の真髄に触れる場とします。
【生活文化】 いけばなの世界展	京都市	京都市内各所	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	京都ならではの会場と設えを用意し、いけばなの美学とところを紹介し、伝統文化の真髄に触れる場とします。
【文芸】 連歌の祭典	京都市	(調整中)	11月5日(土)	全国から連歌を募集し、優秀作品を表彰します。また、吟行会等を開催し、新たな出会いと交流の場を創ります。
【文芸】 連句の祭典	京都市	(調整中)	10月30日(日)	全国の連句愛好者が集い、吟行会や実作会等を開催し、新たな出会いと交流の場を創ります。
【文芸】 現代詩フェスティバル	京都市	(調整中)	(調整中)	全国の現代詩愛好者が集い、詩作や朗読等により、新たな出会いと交流の場を創ります。
【音楽】 合唱の祭典	京都市	京都コンサートホール	10月30日(日)	全国の合唱団が集い、コーラスの競演を行い、新たな出会いと交流の場を創ります。

【音楽】 吹奏楽の祭典	京都市	京都府会館	11月3日(木・祝)	全国の吹奏楽の団体が集い、多彩な演奏を行い、新たな出会いと交流の場を創ります。
【音楽】 ジュニアオーケストラフェスティバル	京都市	京都コンサートホール	11月6日(日)	ジュニアオーケストラの競演を通して、クラシック音楽の若い芽を育むとともに新たな出会いと交流の場とします。
【舞踊】 洋舞フェスティバル・モダンダンス	京都市	京都府立京都府民ホールアルティ	10月30日(日)	全国のダンス愛好者が集い、モダン、ジャズ、コンテンポラリー等のダンスの競演を行い、新たな出会いと交流の場を創ります。
【演劇】 現代劇の祭典	京都市	(調整中)	11月3日(木・祝)	全国のアマチュアの演劇団体が集い、演劇の競演を行い、新たな出会いと交流の場とします。
【美術】 美術展	京都市	京都市美術館他	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	全国から日本画、洋画、書、彫刻の作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、子どもも参加できるワークショップを実施します。
日本画展				
洋画展				
書展				
彫刻展				
【京都ならではの】 マンガアートフェスティバル	京都市	京都国際マンガミュージアム他	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	世界から注目されているマンガやアニメなどの新しい文化と、その大きな可能性を紹介する場とします。

⑤ 山城地域 「結び合うところ」文化発心 —— 街道絵巻山城

事業名	開催地	会場	開催日	内容
【美術】 切り絵の世界「剪画展」	向日市	向日市民会館	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	全国から剪画の作品を募集し、優秀作を表彰するとともに、講評会等によって新たな出会いと交流の場を創ります。
【音楽】 オーケストラの祭典	長岡京市	京都府長岡京記念文化会館	10月30日(日)	音楽のまち、長岡京市を舞台に、全国のアマチュアオーケストラが集い、合同演奏などを通し新たな出会いと交流の場とします。
【舞踊】 洋舞フェスティバル・クラシックバレエ	長岡京市	京都府長岡京記念文化会館	11月5日(土)	全国のクラシックバレエ愛好者が集い、華やかなバレエの競演を行い、新たな出会いと交流の場を創ります。

【京都ならではの】 宇治茶の郷フェスティバル	大山崎町	大山崎町内各所	(調整中)	町内の観光・歴史スポットを会場に流儀・流派にとらわれない茶会を開催するとともに、灯りのフェスティバルを開催。
【音楽】 マーチングフェスティバル	宇治市	京都府立山城総合運動公園体育館	10月30日(日)	全国のマーチングとパトンの団体が集い、多彩な演奏演技を行い、新たな出会いと交流の場とします。
【伝統文化】 全国田楽祭	宇治市	宇治市文化センター	11月3日(木・祝)	宇治田楽の地に全国各地に継承保存されている田楽が集い、日本の伝統芸能を通して新たな出会いと交流の場とします。
【生活文化】 食文化の祭典「野の恵み」	久御山町	久御山中央公民館	11月5日(土) 11月6日(日)	巨椋池干拓地跡の豊壤で栽培される野菜等「野の恵み」による食文化を考える場とします。合わせて、町の伝統芸能安養寺鉦講を披露します。
【音楽】 大正琴の祭典	城陽市	文化パルク城陽	10月29日(土) 10月30日(日)	全国の大正琴の団体が集い、流派を超えて競演し、新たな出会いと交流の場とします。
【伝統文化】 和太鼓フェスティバル	城陽市	文化パルク城陽	11月5日(土)	全国の創作和太鼓の団体が集い勇壮な和太鼓の競演やワークショップにより、新たな出会いと交流の場とします。
【音楽】 室内楽フェスティバル	宇治田原町	宇治田原町総合文化センター	10月30日(日)	お茶のふるさと宇治田原町にハーブを中心とした室内楽愛好者が集い、温かい演奏を通して新しい出会いと交流の場とします。
【文芸】 永谷宗圓「茶」俳句賞	宇治田原町	宇治田原町総合文化センター	10月30日(日)	日本緑茶発祥の地、宇治田原町において全国から「茶」にまつわる俳句を募集し、優秀作品の表彰や講評会により、新たな出会いと交流の場を創ります。
【音楽】 おやじたちのコンサート	八幡市	(調整中)	11月6日(日)	団塊の世代を中心としてフォークソング愛好者が発祥の地と言われる京都に集い、新たな出会いと交流の場を創ります。
【伝統文化】 松花堂昭乗展	八幡市	松花堂美術館他	10月29日(土) 11月6日(日)	八幡市ゆかりの寛永の文人、松花堂昭乗をめぐる書道展や茶会等をゆかりの場所等で開催し、地域に根付く文化を伝えます。
【演劇】 人形劇の祭典	京田辺市	京田辺市立中央公民館他	11月5日(土) 11月6日(日)	一休さんゆかりの京田辺市において、全国のアマチュア人形劇団が集い、日頃の成果の披露を通して、新たな出会いと交流の場とします。
【文芸】 一休とんち大賞	京田辺市	京田辺市立中央公民館	11月3日(木・祝)	京田辺市ゆかりの一休さんにちなみ、「一休とんち大賞」を開催し、優秀作品を表彰します。また、講評会等によって新たな出会いと交流の場を創ります。
【文芸】 川柳の祭典	井手町	京都府山城勤労者福祉会館	11月5日(土) 11月6日(日)	緑豊かな井手町を舞台に、全国から川柳を募集し、優秀作品を表彰します。講評会等を通して新たな出会いと交流の場を創ります。
【音楽】 少年少女合唱フェスティバル	精華町	京都府立けいはんなホール	11月5日(土) 11月6日(日)	全国の少年少女合唱団が関西文化学術研究都市の精華町を舞台に、澄んだ歌声を披露し、新たな出会いと交流の場を創ります。

【生活文化】 木津川物語2011	木津川市	木津川市内各所	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	恭仁京のまち木津川市において、恭仁京、学研サイエンスフェスティバルなど歴史と伝統文化から科学志向の催しまでを伝えます。
【美術】 「お茶のある風景」フォトコンテスト	和束町	グリーンティ和束、和束B&G海洋センター	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	京都府景観資産第1号に登録された和束町の「茶畑と自然景観」を題材としたフォトコンテストを開催し、新たな出会いと交流の場を創ります。
【生活文化】 食文化の祭典「山の恵み『全国ご当地鍋サミット』」	笠置町	わかさぎ温泉笠置いこいの館他	11月6日(日)	きじ鍋の町笠置町に全国からご当地鍋を集め、鍋を通じた全国の豊かな食文化の出会いと交流の場を創ります。
【京都ならではの】 宇治茶の郷フェスティバル	南山城村	南山城村文化会館等	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	主要な宇治茶の産地、府内唯一の「村」南山城村では、茶香服(ちかか)ふき大会等で宇治茶の郷を発信します。
【生活文化】 明日の暮らしの文化展	けいはんな学研都市	けいはんなゾーン学研都市研究施設他	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	衣食住を中心とした生活の未来像を科学的に提案する展示や体験を通して、生活文化を総合的に考える場とします。
【シンポジウム】 シンポジウム「地球と人間」	けいはんな学研都市	京都府立けいはんなホール他	11月3日(木・祝)	文化、学術、研究、産業の拠点「けいはんな学研都市」において、「地球と人間」をテーマに、科学的な見地から人類の未来について考えます。
【京都ならではの】 宇治茶の郷フェスティバル	山城地域各市町村	山城地域各市町村	10月29日(土) ～ 11月6日(日)	宇治茶を育ててきた山城地域は、お茶に関わる史跡や行事、習慣が伝えられる山城地域において、煎茶道も含めた宇治茶の郷文化を伝えます。

※ 主催事業の事業名、会場、開催日等については、今後検討を進める中で変更する可能性があります。